

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育管理費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	2,062	2,177		2,177			2,177	115
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	0						0
	一般財源	2,062	2,177		2,177			2,177

事業概要	社会教育活動の指導・助言を行う社会教育指導員1名の人件費及び社会教育に関する助言を行う15名の社会教育委員会等にかかる報酬等経費	今年度見直し事項	
事業目的	生涯学習課内に社会教育指導員を配置し、また社会教育関係機関及び学識経験者等からなる社会教育委員会で幅広く意見を求め、本市の社会教育の充実を図る。		
現状と背景	近年の少子化・核家族化・メディアの発達などにより現代社会をとりまく環境は大きく変化している。		

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	成人式記念事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	401	401		401			401	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	401	401		401			401

事業概要	新成人が大人として自立する意識をもつことを目的として、式典を開催し祝福する。 日程:平成22年1月10日(日) 会場:文化ホール 対象者:平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれ	今年度見直し事項	
事業目的	大人の仲間入りをした新成人の門出を祝う。		
現状と背景	開催日が成人の日の前日の日曜日ということもあり、出席率は毎年約75%ある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	視聴覚教育振興費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	49	43		43			43	6
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	49	43		43			43

事業概要	鳥取県西部の市町村で構成する西部広域行政管理組合の教育部門にある西部視聴覚ライブラリーにおける視聴覚教材(ビデオ・16ミリフィルムなど)の貸出及び管理	今年度見直し事項												
事業目的	人権、生活安全、保健衛生、環境問題等の教育映像の貸出環境を整備し、学校教育機関並びに広く市民への貸出を実施することにより、市内の視聴覚教育の充実を図ることを目的とする。													
現状と背景	(平成19年度貸出実績) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>貸出回数</td> <td>閲覧人数</td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td>26回</td> <td>787人</td> </tr> <tr> <td>16ミリフィルム</td> <td>5回</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31回</td> <td>1,049人</td> </tr> </table>			貸出回数	閲覧人数	ビデオ	26回	787人	16ミリフィルム	5回	275人	合計	31回	1,049人
	貸出回数	閲覧人数												
ビデオ	26回	787人												
16ミリフィルム	5回	275人												
合計	31回	1,049人												

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化財保護事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	86	71		71			71	15
財源内訳	国							0
	県	18	7	11			11	7
	市債							0
	その他							0
	一般財源	68	64		60			60

事業概要	市内の文化財保護について諮問する文化財保護審議会を開催し、文化財の指定、保存などに向けた総合的な調査活動や意見聴取を行う。 また、市民を対象に文化財を現地で紹介する「文化財巡り」を開催する。	今年度見直し事項	
事業目的	市内に存する重要な文化財を保存、活用することにより、市民文化の向上に資する。		
現状と背景	前回(第3次)の市文化財指定から6年経過しており、第4次指定に向けた指定候補物件の調査・審議を進める。 第1次指定(S62.3) 11件 第2次指定(H4.6) 7件 第3次指定(H14.7) 7件 平成20年11月現在 23件	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市美術展覧会事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	779	783		783			783	4
財源内訳	国							0
	県	389		391			391	2
	市債							0
	その他	390		392			392	2
	一般財源	0	783		0			0

事業概要	美術作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術・文化の振興を図るため、絵画、工芸、彫刻、書道、写真の5部門に市民から美術作品を募集し、優れた作品を展示する「市美術展覧会」を開催する。当展覧会開催のための審査員報酬、会場費などの経費を予算化している。	今年度見直し事項
事業目的	広く市民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術振興を図る。	
現状と背景	平成21年度で開催回数40回となる。 例年、出品点数 約200点、入場者数 約1000人。	
		その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市文化協会助成事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	875	775		775			775	100
財源内訳	国							0
	県	437		387			387	50
	市債							0
	その他							0
	一般財源	438	775		388			388

事業概要	文化活動に広く市民に参加してもらうため、市文化協会加盟団体が主催する市内での発表会、展覧会等の開催費の一部を文化協会を通じて助成する。 補助限度額 1団体につき25千円	今年度見直し事項	
事業目的	市内に活動の拠点を置く文化団体が自主的に行う文化活動を補助することにより、文化の創造を促進するとともに、市民に鑑賞する機会を提供する。		
現状と背景	実績(協会加盟団体 / 補助事業実施団体 / 事業入場者) H19 41団体 / 31団体 / 約5600人 H20 38団体 補助限度額(1団体あたり) H16 36千円 H17 30千円 H18 ~ 30千円(財源内訳:市補助金25千円、協会費5千円)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	生涯学習講座開設事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	282	275		275			275	7
財源内訳	国							0
	県	126		137			137	11
	市債							0
	その他	30						30
	一般財源	126	275		138			138

事業概要	市内の教養の向上、健康の増進、文化の振興などを目的に各地区公民館における社会教育講座及び大学公開講座を開催、それにかかる講師謝礼、会場経費を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	様々な分野の事柄について地域住民が学習できる機会をより多く提供する。		
現状と背景	各地区で地域住民の要望に沿った社会教育講座を開催しており、年間3,000人以上が受講している。また鳥取大学・放送大学等の大学公開講座を年4回実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	教育総務課
事業名	青少年芸術鑑賞事業
補助単独の別	補助(基金・交付金)

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	2,349	2,349		2,349			2,349	0
財源内訳	国							0
	県	1,174		1,174			1,174	0
	市債							0
	その他	1,175		1,175			1,175	0
	一般財源	0	2,349		0			0

事業概要	中学校芸術鑑賞教室(中学生を対象)や青少年劇場巡回公演(小学生を対象)を開催する。小学生3年生以上は毎年、中学生は3年間で2回、生の芸術に触れる機会を創出している。	今年度見直し事項	
事業目的	優れた舞台芸術に間近に触れる機会を提供することで、豊かな情操を培い、芸術文化の振興を図る。		
現状と背景	平成20年度の芸実鑑賞教室は、学校で寄席初体験「じゅげむってなに?」、青少年劇場巡回公演は、劇団ポプラによる「三年寝太郎物語」と人形劇団クラルテによる「ワニがうたえば雨がふる」を開催。	その他	



会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	親子読み聞かせ教室事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	567	555		0	555		555	12
財源内訳	国							0
	県	283			277		277	6
	市債							0
	その他							0
	一般財源	284	555		0	278		278

事業概要	絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等をとおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とし、市内の読み聞かせ団体で構成する読み聞かせ団体連絡協議会が市民活動センター等で開催する読み聞かせ教室の運営に対する補助金を予算化している。 実施日：毎週水曜日、毎月第1・2・3土曜日	今年度見直し事項	
事業目的	絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等をとおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とする。		
現状と背景	近年はメディアの急速な発達と普及により、幼児期からテレビやゲームに触れる可能性が高くなった。このことは親子のふれあいやコミュニケーションの時間を奪い、この時期の子どもに必要な言葉や心の発達を妨げる結果となっている。親子読み聞かせ教室 平成19年度 81回実施。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	教育総務課
事業名	青少年育成センター - 管理費
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	4,278	4,291		4,291			4,291	13
財源内訳	国							0
	県	700	700	700			700	0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	3,578	3,591		3,591			3,591

事業概要	友人関係や家庭内における問題などで学校へ通うことができない児童生徒のに対し、の受け皿として「やすらぎルーム」を設置し、職員2名が児童生徒に自立支援を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	不登校児童・生徒の居場所を確保・支援することで、学校への復帰を促し不登校の解消を目指す。		
現状と背景	平成20年度は不登校で「やすらぎルーム」に通っていた子のうち、4人が学校へ通うようになった。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	市の花普及事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	124	62		62			62	62
財源内訳	国							0
	県	62		31			31	31
	市債							0
	その他							0
	一般財源	62	62		31			31

事業概要	市の花である「菊」を展示し、広く市民に鑑賞の機会を提供することを目的とし、展示のための会場費等の経費を予算化している。 菊展示の委託先: 境港菊の会	今年度見直し事項	
事業目的	市民に市の花を観賞する機会を提供するとともに市の花の普及に努める。		
現状と背景	菊の展示を境中央公園で行ってきたが、より多くの市民に観賞してもらうため、平成19年度は夢みなとタワー、平成20年度は市民会館市民広場で行った。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化振興事業
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,987	1,752		1,753			1,753	234
財源内訳	国							0
	県	618		544	45		589	29
	市債							0
	その他	1,369	575	1,209	45		1,164	205
	一般財源	0	1,177	0			0	0

事業概要	<p>市民の音楽活動等の文化活動の振興を目的に、市民が参加できるコンサート等を開催する経費を予算化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境港市ピアノコンクール</li> <li>・市内の小学生から高校生までが参加するピアノコンクールの開催</li> <li>・サロンコンサート</li> <li>・毎月1回、文化ホールの喫茶コーナーで行う地元の演奏会によるコンサートの開催</li> <li>・シンフォニー少年少女合唱団</li> <li>・市内の小学生から高校生で構成する合唱団の育成</li> <li>・毎週土曜日の練習のほか、年1回定期演奏会を開催</li> </ul>	今年度見直し事項	さかいみなと音楽祭は廃止
事業目的	市民が参加できる文化事業を開催することにより、市の文化振興の発展を図る。		
現状と背景	いずれの事業も10年以上継続して開催しており、多くの市民が参加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育協議会負担金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	36	36		36			36	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	36	36		36			36

事業概要	鳥取県内の社会教育を振興するため県が設置する鳥取県社会教育協議会に対する県内市町村の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	構成団体(市町村教育委員会及び社会教育関係団体)相互の連絡提携を図るとともに、鳥取県公民館連合会と連携して、鳥取県社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。		
現状と背景	平成19年度までは他の協議会等への負担金補助金が主な事業であったため、予算の見直しを行った。その結果、平成20年度から支出項目を主に鳥取県公民館連合会交付金及び自主事業費とし、市町村負担金を削減している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育事務人件費
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	42,868	51,784		51,784	1,509		50,275	7,407
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	42,868	51,784		51,784	1,509		50,275

事業概要	教育委員会事務局職員(社会教育部門)7人の人件費(給与・手当・共済費)である。	今年度見直し事項	
事業目的	教育委員会事務局職員(社会教育部門)7人の人件費(給与・手当・共済費)		
現状と背景	教育委員会事務局職員(社会教育部門)7人の人件費(給与・手当・共済費)	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県社会教育委員連絡協議会負担金
補助単独の別	

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	15	15		15			15	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	15	15		15			15

事業概要	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡調整をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする鳥取県社会教育委員連絡協議会に対する負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡調整をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。		
現状と背景	この会は県及び市町村に設置された社会教育委員をもって組織され、情報収集・情報交換、研修会等とおして各市町村の社会教育の振興を図っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	青少年育成境港市民会議補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	335	335		335			335	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	335	335		335			335

事業概要	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進することを目的とし、青少年育成境港市民会議に対する補助金を予算化している。 青少年育成境港市民会議の事業例は下記の通り。 青少年意見発表会及び青少年育成講演会各1回開催。あいさつ運動・防犯パトロールの実施。	今年度見直し事項	
事業目的	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進する。		
現状と背景	近年の情報メディアの急速な発達・普及により、青少年をとりまく環境は大きく変化している。そのため学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組んでいかなければならない。 会員数54名。	その他	



会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	西部広域行政管理組合負担金(視聴覚ライブラリー)
補助単独の別	

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	554	554		535			535	19
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	554	554		535			535

事業概要	鳥取県西部地区の市町村で構成する西部広域行政管理組合の教育部門である西部視聴覚ライブラリーの人件費、教材購入費等の経費に対する境港市の負担金を予算化している。	今年度見直し事項													
事業目的	人権、生活安全、保健衛生、環境問題等の教育映像の貸出環境を整備し、学校教育機関並びに広く市民への貸出を実施することにより、市内の視聴覚教育の充実を図ることを目的とする。														
現状と背景	(平成19年度貸出実績) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>貸出回数</td> <td>閲覧人数</td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td>26回</td> <td>787人</td> </tr> <tr> <td>16ミリフィルム</td> <td>5回</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31回</td> <td>1,049人</td> </tr> </table>		貸出回数	閲覧人数	ビデオ	26回	787人	16ミリフィルム	5回	275人	合計	31回	1,049人	その他	
	貸出回数	閲覧人数													
ビデオ	26回	787人													
16ミリフィルム	5回	275人													
合計	31回	1,049人													

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	プラスフェスタ運営補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	353	376		376			376	23
財源内訳	国							0
	県	176		188			188	12
	市債							0
	その他	177		188			188	11
	一般財源	0	376		0			0

事業概要	市内の小学校から高校、一般までの金管バンドが参加するコンサート(プラスフェスタin境港)の運営費を補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	金管バンドを通して、様々な年代の演奏者の交流と音楽活動の振興を図るとともに、市民に広く鑑賞の機会を提供する。		
現状と背景	平成17年度までは(財)境港市文化福祉財団の自主事業、平成18年度は市主催事業、平成19年度からはプラスフェスタin境港実行委員会の主催事業として開催している。 市補助金のほか、(財)ごうぎん鳥取文化振興財団助成金の申請を予定。 平成19年度実績:出演者 300人、来場者 550人	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	375	250		250			250	125
財源内訳	国							0
	県	187		125			125	62
	市債							0
	その他	188		125			125	63
	一般財源	0	250		0			0

事業概要	市内の文化団体が主催する市内での発表会、展覧会等の開催費を補助する。 補助率 補助対象額の1/2 補助限度額 1団体につき125千円	今年度見直し事項	
事業目的	市内に活動の拠点を置く文化団体が自主的に行う文化活動を補助することで、文化の創造を促進するとともに、市民に広く鑑賞する機会を提供する。		
現状と背景	補助実績(交付団体/参加者) H18 2団体/約400人 H19 1団体/約200人	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	文化ホール15周年記念コンサート開催事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	1,000		0	1,000		1,000	1,000
財源内訳	国							0
	県	0			500		500	500
	市債							0
	その他	0			500		500	500
	一般財源	0	1,000		0		0	0

事業概要	市内の文化拠点として親しまれている文化ホールの開館15周年を記念して、境港市出身のプロの音楽家小鉄和広氏のオペラコンサートを開催し、質の高い音楽を市民に提供する。(奥田あき子氏顕彰事業)	今年度見直し事項	
事業目的	市内の文化拠点として親しまれている文化ホールで、プロの音楽家によるオペラの鑑賞の機会を提供する。 文化ホール15周年とともに、小鉄氏が「イタリアの芸術と音楽の世界普及」でイタリアの自治体(アンツィオ・ネットゥーノ市)から「エンリーコ・カルーソ賞」を受賞されたことを記念して行う。		
現状と背景	コンサートは、小鉄氏のほか、島崎智子氏、アンツィオ・ネットゥーノ市の文化に貢献しているイタリアのテノール歌手による(予定)オペラを上演し、受賞記念のほか、日伊交流と題し実施する。 コンサートの運営は、小鉄氏が代表を務める「東京オペラ」に委託する。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	社会教育施設AED整備事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	2,478		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	2,478		0			0

事業概要	市内7地区公民館、市民会館、海とくらしの史料館、温水プールにAED(自動対外式除細動器)を設置。	今年度見直し事項
事業目的	公民館行事には、運動会や各種スポーツも多く、参加者の年齢層も幅広いので、緊急時への対応としてAEDの設置が必要である。	
現状と背景	市では、平成18年5月に健康長寿課に1台導入。 小中学校には、平成19年度に全て設置しているが、学校と隣接していない公民館もあり、AEDを学校と公民館で共有するのは難しい。	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費

所管課	生涯学習課
事業名	ふるさとまちなみ建物支援事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	903		0	903		903	903
財源内訳	国							0
	県	0			451		451	451
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	903		0	452		452

事業概要	市内の歴史的・文化的な建築物の維持補修を支援する。 補助額: 補助対象経費(上限900万円)の1/2	今年度見直し事項	
事業目的	地域の歴史や伝統・文化を反映した建築物の維持補修を支援することにより、地域の歴史的なまちなみや景観を保全する。		
現状と背景	母屋・茶座敷が市指定文化財である庄司家の外観を成す北側・東側塀(文化財指定なし)の老朽化に伴う修繕に対し、補助する。	その他	